

吹田西ロータリークラブ ウィークリー



ロータリーの未来は
あなたの手に | THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009～2010 — 創立30周年 —

■ 創立 1980.6.12
 事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
 ☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.com>
 例会場 江坂東急イン
 ☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109
 例会日 毎月曜日 18:00～19:00
 役員 会長：仲辻 章 幹事：清水大吾 会報委員長：岡 信行

4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

～伝えつなぐ30年 笑顔一杯～
“たしかなこと”

第1374回 例会 平成22年 5月31日

卓話 「30周年記念式典について」

今週の歌 「ROTARY」

先週内容

会長挨拶

仲辻会長



一昨日、茨木RC創立50周年記念の式典に参加してきました。姉妹が提携クラブですが、インドネシア、台湾から多勢の会員が出席されていました。そして、それらクラブに対する奉仕の業績を映像で示し、説明をされました。医療関係、特に子供の疾病について

次週 第1375回例会予告 平成22年6月7日

卓話 「30周年記念式典 於 東急イン」

Weekly No. 1374は郷土委員が担当しました。

Weekly No. 1375は岡委員長が担当の予定です。

(本日の原稿をお渡し下さい)

の援助に注目しました。例えば水頭症、三つ口の子供らへの治療です。

私としては、2週間後に我がクラブの30周年記念を迎えますので非常に参考になりました。

帰宅後我がクラブの25周年の記念誌を改めて読み返しました。スリランカに於ける先輩諸氏の国際協力の詳細です。

1987年、コロンボセントラルRCと姉妹クラブとしての調印を行って以後、2004年に至るまで、各年度の会長はじめ会員の方々がスリランカを訪問されています。

住宅建設プロジェクト、村内児童公園の設置、灌漑池浚渫工事、職業訓練センター建設等のプロジェクト工事への援助があります。これらプロジェクトはWCSの事業として行われたと理解しますが、その各工事に伴って、我がクラブから拠出された金額が詳細に記載されています。

皆様方、この金額、トータルして幾らと思われませんか?何と1109万円です。この事業の為参加され、わざわざスリランカへおいでになった会員の出費を考えますと、我がクラブとしての出費は莫大なものです。

これに対して、受け取られた方々が、我々の努力、出費をどう評価されているのでありましょか。まさか我が国のODA援助のように考えられているのではないと思いますが。

今年も我々は、タイのナコンパノムRC、千里RCとのMGとして、クリーンウォータープロジェクトを実行しました。子供達の歓迎は受けましたが、実際はどうなんでしょう。6月7日、ナコンパノムRCの会員21名がおいでになります。

自由な会話が出来れば、忌憚のない御意見を伺いたいものです。

幹事報告

清水幹事

1. 吹田市制70周年にあたり、吹田市長より感謝状をいただきましたので、ご報告致します。
2. 新しいバナーができあがりました。
3. 本日、持ち廻り理事会にて、蔵田会員転勤による退会にともない、後任として、元田弘之（モトダヒロユキ）氏の入会が承認されました

ゲスト

榎原委員

ゲスト入会

元田弘之 様

出席報告

新井副委員長

- 会員数 49名 ●来客 1名
- 出席会員数 44名 ●本日の出席率 91.67%
- 4月26日の出席率(メーキャップを含む)100%

社会奉仕委員会

青木委員長

来たる6月17日(木)は、ビケンテクノ様の事業所をお借りして、献血があります。多数のロータリアンのご協力をお願い致します。

献血ポスターが日本赤十字より何枚か来ております。ご希望の方は例会受付にありますのでお持ち帰り下さい。

米山記念奨学会委員会

栢本委員長

本日、河邊会員、宮川会員より特別寄付を頂戴しました。ご協力ありがとうございました。

ニコニコ箱

本田副SAA

◆紙谷 弥一郎 様
(前回のゲストスピーカー)
卓話の謝礼金を頂戴しましたが、別途ニコニコも頂戴しました。

◆清水会員
お誕生日のお祝いありがとうございました。

◆郷上会員
今日は雨がよく降りました。皆さんお元気ですか。

◆澤井会員
結婚祝いの御花、有難う御座居ました。なんとか無事に50年が過ぎました。

◆吉田会員

13年間8万km走行のマツダセンティア3000を50万円で車検をしました。新車購入すれば助成金等で65万円控除があるが、50年前にマツダクーペ360CCを乗り始め、青春時代はマツダの新車発売に合わせて乗り換え、日本全国ドライブを楽しみ、20数台乗り継ぎ、13年前にセンティアにりましたが、マツダは後継車種を発売せず、マツダ車のオーナークラブの会長も務めた経緯もあり、他社の車に乗り換える気もなく、無事故無違反29年更新中です。あと数年で運転免許の返納を考えています。それまで乗ることにします。

本日のニコニコ箱 41,000円
累計のニコニコ箱 1,061,000円

卓話

「30周年記念式典 最終打ち合わせ」



吹田西ロータリークラブ30周年記念式典・部会組織表

30周年 実行委員長 家村 武志 実行副委員長 小林 哲 幹 事 橋本 徹也			会長 仲辻 章 幹事 清水 大吾	
部 会	部 長	部 員		担当内容
式典・祝宴部会	阪本 勝彦 (橋本 徹也)	村井 正雄 大藤 辰弘 阿部 吉秀 由上 時善 長屋 興 蔵田 敦史 栢本 義臣 宮川藤一郎	伊藤 泰充 田中 孝男 永田 昌範 石崎 克弘	○来賓リスト・名札・リボンの作成 ○記念品の発注 ○プログラム（シナリオ）の作成 ○式典・祝宴の設営（看板・国旗等） ○式典・祝宴の席割り ○中学生（プラスバンド部）の 楽器の搬入・搬出 ○ホテルとの打ち合わせ（料理・飲物等）
接待部会	橋本 徹也	来賓の接待	登録及び受付	○式典まで来賓の接待と会場への案内 ○登録及び受付 ○来賓者の案内
		瀧川 紀征 鈴木 基弘 小川 勉 梶山 高志 中堀 和英	島田 重樹 荻田 倫也 橋本 芳信 井伊圭一郎 本田 智教 勝 寛	
国際部会 外国来賓の接待	田中 慶一 (小林 哲)	尾家 亮 毛利征一郎 右松 強 高木久美子 紙谷 幸弘 木田 昌宏 榎原 一滋 橋本 芳信	河邊 哲郎 新井 清 瀧川 紀征 岡 信行 佐藤 洋一 蔵田 敦史 長屋 興 阿部 吉秀	○コロボセントラルRC・4名 ナコンパノムRC・20名 キヤテサック提督以下・14名 の来日から帰国までの接待 ○観光・食事・バス・ホテルの手配 ○空港までのお迎え・見送り
記録・広報 (記念誌)	青木 建雄 (坂口 道倫)	岡 信行 榎谷 忠治 澤井 正寛 水間 正一 郷上 勲		○記念誌の作成 ○来賓名簿の作成 ○写真撮影 ○記念写真
30周年 記念事業部会	瀧川 紀征 小林 哲	田中 慶一 紙谷 幸弘 橋本 徹也		○式典での記念事業の発表 ・クリーンウォータープロジェクト ・岡本太郎作・リオちゃんふる里に帰る ○リオちゃんのモニュメントが完成の時の 式典の準備
会 計	渋谷 清明	荻田 倫也		○収支予算の作成・管理 ○収支決算報告書の作成



2010年度
ロータリー青少年指導者養成プログラム
「春のライラ」報告書

日時 2010年5月2日(日)～4日(火・祝)
場所 大阪府立青少年海洋センター
テーマ 『エコ社会を君たちの手から
(若者が考える地球環境)』
主催 国際ロータリー 第2660地区
ホスト 大阪城北ロータリークラブ



株式会社ビケンテクノ
瀬崎 裕介 様

今回ロータリークラブ主催のライラ研修に参加させて頂きありがとうございました。参加者には普段交流のない外国の方も多く、大変貴重な経験が出来ました。

今回のライラ研修のテーマは、「エコ社会を君たちの手から(若者が考える地球環境)」という事で、リーダーシップとは何かということに平行して、環境問題も考えていくという研修でした。

まず初日は開講式があり、その後約10名程度のグループに分かれ自己紹介をしました。「アイスブレイク」といわれたこの時間は、自分の名前・ニックネームを紹介しました。自己紹介が終わると、次に自分達のグループ名をみんなで考えました。

私たちのグループは「As we are」という名前にしました。これは直訳すると「私達がそうであるように」。由来は、それぞれ個性も主張しつつ、協力し合って進んでいこうという想いからです。

その後、カッターボードという手漕ぎ船に乗り込み、みんなで「イッチ・ニー、イッチ・ニー」と掛け声を出し、力を合わせて漕ぎました。

少し関係が解れてきたところで、夕飯のカレー作りに取り掛かりました。それぞれが分担し、協力し作ったカレーは格別でした。カレーを頬張り、さらに打ち解けてきたことによって、信頼関係が生まれてきたように思いました。

2日目は、早朝海岸清掃を終えた後、山登り

班と海岸散策に分かれました。私は山登り班で、進行方向を確認する為に先頭に立ち、方位磁石で方角を確認しつつ、後方の進行状態や足元の確認、頭上の確認をしつつ歩きました。他のメンバーの体調にも気を配りつつ進んでいたつもりだったのですが、グループのメンバーであるタイ人の学生が軽い肉離れを起こしてしまいました。しかもその学生は日本語が殆ど話せない学生でした。しかし、グループのメンバーで手分けし、湿布を貼る人・さす人・水分を提供する人・励ます人と役割を分担し、何とか下山することが出来ました。

下山した後は今回のテーマでもある環境についてディスカッションし、その内容を最終日に発表するという流れでした。

何故、山の環境維持をしなくてはならないのか？昔の山は手入れをしていなかったのに今必要なのはどうしてか？人は何故ゴミのポイ捨てをするのか？等様々な議論がありました。それぞれが意見を出し合った結果、自然の環境維持に必要なのは資金と自然への興味、自然を大事にという心が必要だという結論に至りました。

では、どうしたらよいかを話し合い、グループで決めた改善案は、「婚活登山～恋のぼり～」です。内容は婚活をしている男女を集め、費用を頂き登山してもらいます。何故登山かということ、韓国では、カップルで登山すると人間の本質が見えるという話があり、その本質を見て結婚を考えるらしく、その話にあやかり今回の案となりました。

3日目は、各グループが山や海に関する環境について発表し、無事閉講式を迎えました。

今回のライラ研修に参加して感じたことは、環境問題への取り組みや意識が自分自身低いということ、リーダーシップとは、決断力・忍耐力が必要であり、協調性を重んじる気持が大事だということを実感できました。

それぞれが今回肌で感じたように環境問題に真剣に取り組む、意見をぶつけ合い、理解し尊重し合えば、よりよい地球になるように思います。また、今回の出会いを大切に、環境問題等の意見交換が出来るように、外国と日本の違いも勉強しつつ交流し続けていければと思います。

本当にライラ研修に参加させて頂き、良い経験が出来ました。ありがとうございました。